

問1 西アジアで成立したイスラム教と、同時期の日本や東アジアの状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019

年 千葉県公立入試 類似)

- ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。
- イスラム教が成立した時期、日本は卑弥呼が中国の魏に使いを送っており、邪馬台国が勢力を持っていた。
- イスラム教が誕生したのと同じ世紀に、日本では平氏による武家政権が誕生し、日宋貿易が盛んに行われていた。
- ムハンマドが宗教活動を始めた時代、日本では聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺を建てていた。

問2 石の柱に刻まれた「ハンムラビ法典」には、くさび形文字で「目には目を、歯には歯を」という原則が記されている。このように、法律を文字として記録し、公開した目的として最も適切なものはどれか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)

- 特定の神官階級にのみ法律を伝え、民衆を秘密裏に支配するため
- 裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため
- 文字を読めない民衆のために、刑罰の内容を絵で分かりやすく示すため
- 他国との貿易において、商品の価格や取引のルールを共通化するため

問3 紀元前3世紀、中国を統一した秦の始皇帝が、それまで各地にあった壁をつなぎ合わせて大規模な建造物を整備した目的と、その付随する役割として適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀公立入試 類似)

- 北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、のろしを上げて敵の襲来を知らせるため
- 都である平城宮を囲い込み、南方の民族との交易を円滑にするため
- 国内の反乱を鎮圧するために兵士を常駐させ、物資の集積所とするため
- 洪水から耕地を守るための堤防とし、あわせて情報伝達のための駅伝制を敷くため

問4 紀元前16世紀ごろの中国で成立した殷 (いん) の遺跡からは、亀の甲羅や動物の骨に文字が刻まれた資料が数多く出土しています。この資料に刻まれた、現在の漢字の起源とされる文字を何といいますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

- 楔形文字
- 甲骨文字
- ヒエログリフ
- 象形文字

問5 中国の始皇帝陵の近くで発見された、陶製の兵士や馬が並ぶ「兵馬俑」に関する説明として、当時の政治や社会の様子をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

- 一体ごとに異なる表情や服装で製作されており、始皇帝の強大な軍事力と中央集権的な権力を象徴している。
- 万里の長城の建設に従事した労働者たちの労をねぎらうため、その姿を写実的に記録したものである。
- シルクロードを通じた西方文化の影響を受け、古代ローマの石像彫刻の技術をそのまま取り入れて作られた。
- 仏教を国教とした始皇帝が、寺院を警備する武神として各地の寺院の地下に配置させたものである。

問6 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた、世界最古といわれる文明の名称と、その文明で発明され粘土板に刻んで使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 大阪公立入試 類似)

- メソポタミア文明 — くさび形文字
- エジプト文明 — 象形文字 (ヒエログリフ)
- インダス文明 — インダス文字
- 中国文明 — 甲骨文字

問7 日本列島において、人々がナウマンゾウなどの大型動物を狩り、植物の採集を行って生活していた、土器が使用される前の時代に、主に使われていた石器の名称として適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

- 打製石器
- 磨製石器
- 骨角器
- 金属器

問8 インダス文明の遺跡からは、動物などの図案とともに文字が刻まれた石造りの印章が多数発見されています。この文明で用いられた文字や、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

- 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない
- 粘土板に楔形文字が刻まれ、周辺地域との取引の記録として使われた
- パピルスにヒエログリフで記され、王の事績や神話が記録されていた
- 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、占いを通じて政治の判断に用いられた

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。</b>	イスラム教の成立は7世紀であり、この時期の東アジアでは中国で唐（618年～）が成立し、日本では大化の改新（645年）が行われるなど、中央集権的な国家体制の構築が進んでいました。卑弥呼は3世紀、武家政権の誕生は12世紀、聖武天皇の治世は8世紀の出来事であるため、これらはイスラム教の成立時期とは一致しません。
問2	<b>答え 2</b> <b>裁判の基準を明確にし、広大な領土を統一的なルールで統治するため</b>	ハンムラビ王は、メソポタミアを統一した際、それまでバラバラだった慣習やルールを「成文法（文字に書かれた法律）」としてまとめました。誰の目にも見える形で法律を提示することで、公平な裁判の基準を示し、王の権威のもとで社会秩序を安定させる狙いがありました。
問3	<b>答え 1</b> <b>北方の遊牧民族の侵入を防ぎ、のろしを上げて敵の襲来を知らせるため</b>	秦の始皇帝は、中国を統一した後、北方から侵入してくる遊牧民族に備えるために万里の長城を整備しました。この建造物は軍事的な防衛ラインであると同時に、敵の姿を確認した際に火をたいて煙を上げる「のろし」によって、遠方の拠点へ迅速に情報を伝える通信網としての役割も果たしていました。選択肢にある「平城宮」は日本の奈良時代の都であり、時代も地域も異なります。
問4	<b>答え 2</b> <b>甲骨文字</b>	中国最古の王朝とされる殷では、政治の重要な事柄を決定する際に神の意志を問う占いが行われていました。その占いの結果を亀の甲羅（甲）や動物の骨（骨）に刻んで記録したものが、現在の漢字のもとになった甲骨文字です。この文字が発見された都の跡は「殷墟（いんきょ）」と呼ばれ、当時の高度な文明を伝えています。
問5	<b>答え 1</b> <b>一体ごとに異なる表情や服装で製作されており、始皇帝の強大な軍事力と中央集権的な権力を象徴している。</b>	秦の始皇帝は、法に基づく統治と中央集権化を進め、圧倒的な軍事力で戦国時代を終結させました。兵馬俑にみられる等身大で写実的な兵士の隊列は、皇帝が掌握していた組織化された軍隊を再現したものであり、死後もその支配を継続しようとする皇帝の執念と権力の大きさを表しています。なお、仏教が中国に伝来するのは後漢の時代であり、秦の時代ではありません。
問6	<b>答え 1</b> <b>メソポタミア文明 — くさび形文字</b>	現在のイラク付近を流れるチグリス川とユーフラテス川の間広がる地域では、肥沃な土地を利用して農耕が始まり、メソポタミア文明が発展しました。この文明では、川の周辺で得られる粘土を板状にし、尖った棒などで文字を刻み込む「くさび形文字」が発明され、商業や法律の記録に使用されました。
問7	<b>答え 1</b> <b>打製石器</b>	土器が出現する前の旧石器時代には、石を打ち欠いて作った打製石器が使われていました。この時代の後の縄文時代になると、石を磨いて作る磨製石器や、食料を煮炊きするための土器が使用されるようになります。石器の作り方の違いは、旧石器時代と新石器時代（日本では縄文時代以降）を区別する重要な指標です。
問8	<b>答え 1</b> <b>独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない</b>	インダス文明の印章に刻まれた「インダス文字」は、象形文字の一種と考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在もその内容は解読されていません。選択肢にある楔形文字はメソポタミア文明、ヒエログリフはエジプト文明、甲骨文字は中国文明（殷）において使用されたものです。